



(案)

東アジア文化都市 2020 北九州

基本構想

2019年3月



北九州市は、2018年に国とOECDからSDGs推進のモデル都市に選定されました。工業都市として発展する中で発生した公害を市民と連携して克服した経験は、本市のかけがえのない財産となり、今日の市民力やアジアとの交流、環境国際協力などに繋がっています。

SDGsの達成に向けて取り組むこと。それは、将来にわたって「住みよいまち」を創っていくことにほかなりません。

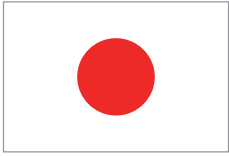
一方、文化芸術には、人の心を豊かにし、まちを元気にする力があります。人々の創造力を喚起し、地域課題の解決の糸口や可能性を生き生きと示します。また、音楽や踊り、工芸や食などの文化は、経済的な発展レベルに関わらず、それぞれの国や地域に豊かに存在し、その振興はSDGsの推進に寄与するものです。

本市は、SDGsの達成による「住みよいまち」を実現するため、文化芸術そのものの向上だけでなく、文化芸術の力を観光や産業にも活かす創造的なまちづくりを進めていきます。この大きな契機とすべく、「東アジア文化都市2020北九州」に取り組めます。

東アジア文化都市 2020 北九州実行委員会
会長 北橋健治

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年に国連サミットですべての加盟国が採択した世界共通の開発目標です。持続可能な社会づくりを行うため、2030年までに目指す17の目標（ゴール）と169のターゲットを定めています。

東アジア文化都市とは



「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
日本	 東アジア文化都市 2014横浜 Culture City of East Asia 2014 YOKOHAMA	 東アジア文化都市 2015新潟市 Culture City of East Asia 2015 NIIGATA	 東アジア文化都市 2016奈良市 Culture City of East Asia 2016 NARA	 東アジア文化都市 2017京都 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2017 KYOTO	 KANAZAWOW! 東アジア文化都市 2018金沢 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2018 KANAZAWA	 東アジア文化都市 2019豊島 Culture City of East Asia 2019 TOYOOKA	 東アジア文化都市 2020北九州 ※
	横浜市	新潟市	奈良市	京都市	金沢市	豊島区	北九州市
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	西安市	(未定)
韓国	光州広域市	清州市	済州特別自治道	大邱広域市	釜山広域市	仁川広域市	(未定)

※2020年のロゴマークは2019年夏頃に決定予定

「東アジア文化都市2020北九州」を開催！

北九州市文化振興計画

市民が文化芸術を身近に感じ、
市民自身が文化芸術を支えるまち

文化芸術によるまちづくり

- ① まちのにぎわいづくり
- ② 2020年東京大会に向けた文化プログラムの検討
- ③ 創造都市への取組み

東アジア文化都市 2020北九州



「創造都市・北九州」へ

文化芸術の持つ創造性を、地域振興や観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む都市を「創造都市」と呼び、この試みは現在、世界中の多くの都市で、地域との連携のもとに進められています。本市においても、文化振興計画の中で、文化芸術を地域経済、教育、福祉などに生かし、創造的なまちづくりを進めることを謳っています。

北九州市は、歴史的・地理的にアジアの玄関口として発展し、多くの文化人を輩出する他、多様な文化施設の充実や、先進的な文化芸術に取り組むなど、豊富な文化土壌を有しています。

東アジア文化都市 2020 北九州では、本市を舞台に、市民、産業界、東アジアをはじめとする多様なアーティストが集い、それぞれの創造性を最大限に引き出しながら交流・協働・融合することで、新たな価値を生み出し進化させることを目指します。同時に、本事業を通じて「創造都市・北九州」の実現を図っていきます。

事業の目標

「参加」による創造都市の実現

芸産学官 + 市民のオール北九州で取り組み、
文化芸術を通じて市民のシビックプライドを醸成します。

「交流」による創造都市の実現

多様な交流を通じて東アジアとの相互理解や新たな価値を生み
アート之力によるインバウンドの促進など文化観光を振興します。

「発信」による創造都市の実現

北九州発の文化芸術を国内外に効果的に発信し
国内および国際的な評価を獲得します。

基本方針

東アジア文化都市2020北九州 5つの宣言 = DESIGN宣言!

(事業目標の達成に向けて、重点的に取り組む事業の基本方針)

DISCOVER 宣言

可能性を秘めた北九州の
新たな文化芸術を発掘・発見
【アーティスト・イン・レジデンス事業等】



EDUCATION 宣言

中長期的な視点で文化芸術や
国際交流を次世代へとつなぐ
【青少年交流・教育委員会連携事業等】



SYMPHONY 宣言

北九州の豊かな文化土壌を見つめ
文化芸術の魅力を再発見
【市民ダイアログ、シンポジウムの開催等】



NETWORKING

INNOVATION 宣言

芸産学官の協働・融合により
文化芸術と産業振興を紡ぐ
【各コア期間事業での先進的取り組み等】



GLOBAL 宣言

インバウンド促進に向けて北九州の
文化芸術を国内外に向けて発信
【おもてなし事業・観光振興事業等】



創造都市・北九州の実現

キャッチフレーズ

ART
KITERU!
KITAKYUSHU

新しいアートも、知られざるアートも、
攻めてるアートも、伝統のアートも。
北九州市は、今まさに、アートが「KITERU!」
東アジア文化都市 2020 北九州が開催される来年、
アートが「KITA!」となるように、
北九州市全体で盛り上がって行こう!

事業概要

東アジア文化都市 2020 北九州 開催概要

期間	2020年1～12月（コア期間 2020年7～8月、10～11月）
会場	北九州芸術劇場、北九州市立美術館、北九州市立自然史・歴史博物館、 北九州市立文学館、北九州市立松本清張記念館、北九州市漫画ミュージアム ほか 市内各所・各施設 中国・韓国の東アジア文化都市開催市
主催	東アジア文化都市 2020 北九州実行委員会、文化庁、北九州市

東アジア文化都市 2020 北九州 事業スケジュール

2019 2020

プレ
イベント

プレ期間

3月
28日(土)

開幕
式典

通年事業

日中韓交流事業、市主体事業、市民企画事業など
年間を通じて様々なプログラム・イベントを
展開します。
夏と秋のコア期間には集中的に開催！

11月下旬
▼
12月

閉幕
式典

夏の
コア期間

秋の
コア期間

オリパラ・ウェルカム プログラム

オリンピック・パラリンピック開催期間に
合わせ、訪問客を日本文化でお迎えます。

2020年 7月中旬 ▶ 8月中旬

東アジアアート プログラム

秋の芸術シーズンに、市民を中心に
東アジアの文化芸術で盛り上げます。

2020年 10月 ▶ 11月

事業内容

プレ事業

2019年11月～2020年2月

東アジア文化都市を市民に広く周知し、開催への機運を高めるため、プレイベントや冠事業を開催します。

- アジアに共通する「発酵食」や北九州の食の魅力をテーマとした食の祭典イベント
- 市民による「合唱組曲『北九州』」演奏会
- ポップカルチャー関連イベント など

オープニング事業

2020年3月～4月

「食」をテーマに東アジアの文化を体感できるイベントを開催し、賑わいづくりと東アジア文化都市開催の盛り上げを図ります。

- 日本及び北九州の食の魅力を発信するシンポジウム
- 北九州ゆかりの料理人が北九州の食材を使って提供する食イベント
- 北九州市立文学館リニューアル など

開幕式典

2020年3月28日(土)

東アジア文化都市の事業スタートと日中韓三都市による交流の始まりを国内外に向けて発信する開幕式典を開催します。

会場：北九州芸術劇場

内容：

- 中国・韓国の開催都市が参加する開幕セレモニー
- 中国・韓国の開催都市紹介
- 日中韓の舞台公演
- 市民参加によるオープニングステージ など

閉幕式典

2020年11月下旬～12月

東アジア文化都市の成果を確認し、開催都市間の交流・友好継続の絆を深めるとともに、次期開催都市へ東アジア文化都市を引き継ぎます。

会場：北九州芸術劇場

内容：

- 中国・韓国の開催都市が参加する閉幕セレモニー
- 日中韓の各開催都市の東アジア文化都市事業報告
- 日中韓の舞台公演
- 市民参加によるフィナーレステージ など

日中韓文化交流事業

2020年1月～12月

文化芸術を通じて、中国・韓国の開催都市との交流を深め、東アジアの多様な文化に触れるとともに、相互理解・連帯感を深めます。また、青少年の開催都市間の相互派遣を行い、各都市の生活や文化を体感することで、文化の多様性への理解や視野の広い人材育成を図り、継続的な友好関係を築きます。

- 青少年交流
- 芸能団体の相互派遣
- アーティスト交流
- など

コア期間事業

2020年7～8月、10～11月

集中的に文化芸術事業に取り組むコア期間を設定し、
様々な文化プログラムを展開していきます。

夏のコア期間【7月中旬～8月中旬】オリパラ・ウェルカムプログラム

世界の目が日本に注がれる東京オリンピック・パラリンピックの期間にあわせ、
改めて日本の伝統芸能の理解を深め親しむとともに、
今後の海外からの訪日客の増加を見据え日本文化でお迎える
「夏のコア期間：オリパラ・ウェルカムプログラム」に取り組みます。

伝統芸能

世界に誇れる日本や本市の「伝統芸能」をテーマに、日
中韓の伝統楽器や日本舞踊の創作上演など、国境や世
代を超えて楽しめる事業を開催します。

●(仮称) 東アジア伝統芸能饗宴

東アジア文化都市
2017 京都
狂言 × 中国変面
「からくり人形」



秋のコア期間【10月～11月】東アジアアートプログラム

市民を中心に東アジアの文化芸術で盛り上がる
「秋のコア期間：東アジアアートプログラム」に取り組みます。

ART for SDGs

本市はものづくり・産業のまちとして培われてきた産業技術や環境技術
など誇る資産を有しており、SDGs のモデル都市となっています。そ
のシンボリックな八幡東区東田地区をメイン会場に、SDGs をテーマに
したアートフェスティバルを開催します。

●(仮称) ART for SDGs



メディア芸術

本市は「北九州市漫画ミュージアム」や「北九州ポップカルチャーフェ
スティバル」等を中心に、漫画・アニメの魅力を幅広い世代に発信して
います。また、「映画の街」として、先駆的に取り組んできた北九州フィ
ルム・コミッションの実績もあります。こうした強みを活かしながら、様々
なイベントを開催します。

●(仮称) アジアメディア芸術祭 ●北九州国際漫画大賞

●(仮称) 北九州 FC 国際映画祭



文学

本市では優れた作家や詩人・俳人を多数輩出しており、文学館や松本
清張記念館、文学サロンなど文学にまつわる文化施設が充実していま
す。こうした土壌を活かして、文学による東アジアとの交流を図ると
ともに、他の芸術分野とクロスオーバーする事業を開催します。

●(仮称) 東アジア文学会議

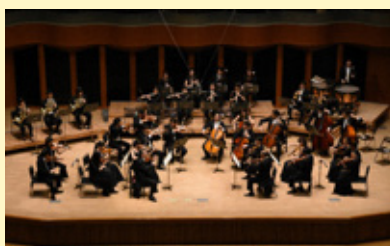


連携事業

2020年4月～12月

一年を通じて、各種文化芸術事業に東アジア色を盛り込みながら、連携事業として取組むことで、東アジア文化都市の盛り上げを図ります。

●北九州国際音楽祭 ●北九州市障害者芸術祭 ●各文化施設での連携事業 など



北九州国際音楽祭
マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ



2017年北九州市障害者芸術祭

市民企画事業（パートナーシップ事業）

2020年4月～12月

多くの市民が事業を鑑賞するだけでなく、創り手として参加できる機会を設けてオール北九州で機運を盛り上げるため、市民による企画事業の公募（パートナーシップ事業）を行います。

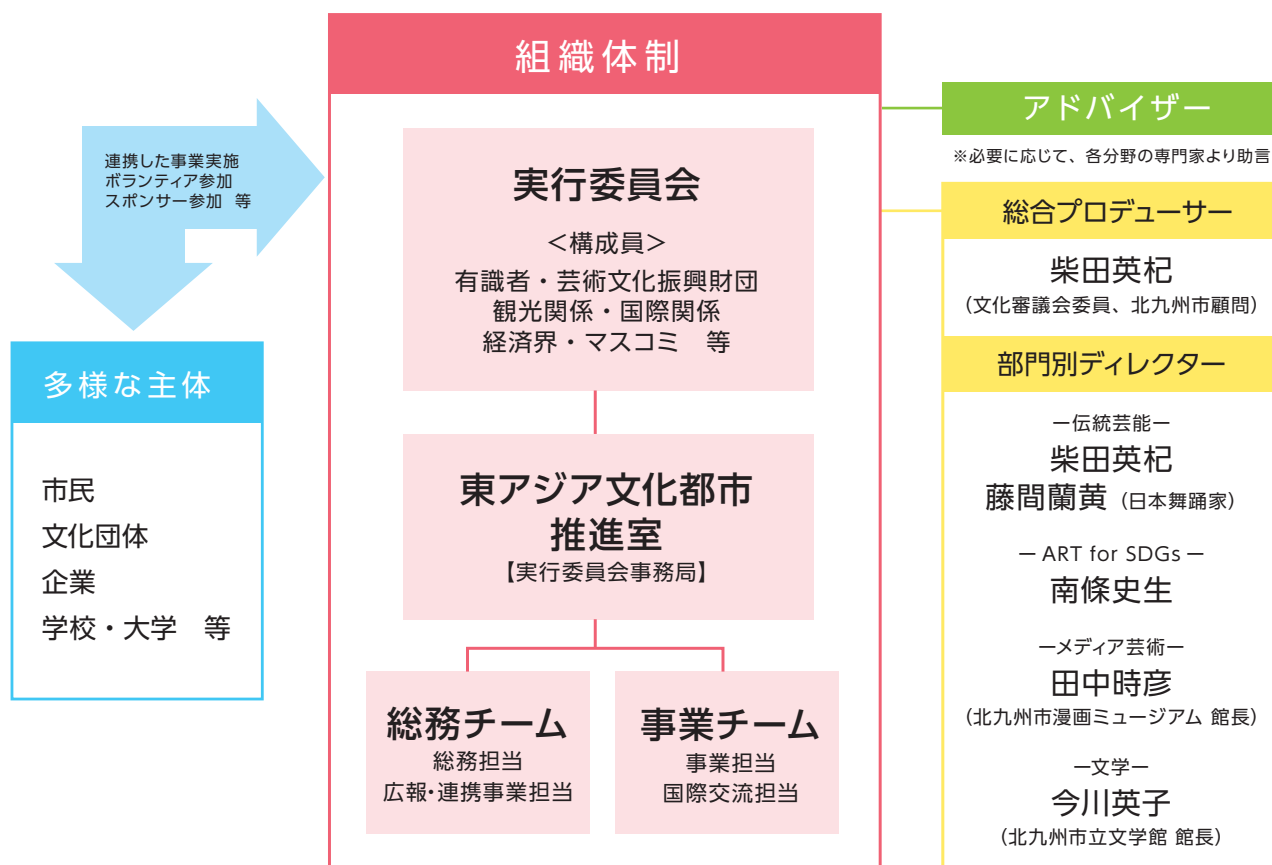
広報連携事業（フレンドシップ事業）

2020年1月～12月

東アジア文化都市 2020 北九州の期間中に市内で開催される様々な文化芸術事業に対し、ロゴの使用やホームページの掲載等を通じた一体的な広報連携事業（フレンドシップ事業）を展開します。

事業体制

芸術学官が一体となった「東アジア文化都市2020北九州」実行委員会を立ち上げ、市民・文化団体・企業・学校・大学等と連携し、オール北九州で事業に取り組み全市的な盛り上げを図ります。また、総合プロデューサーや主要事業に部門別ディレクターを迎え、創造性に富んだ事業実施を推進します。



実行委員会スケジュール(案)

回	開催時期	主な議題
第1回	2019年3月	基本構想、2019年度予算
第2回	2019年8月	基本計画
第3回	2019年12月	実施計画
第4回	2020年5月	2019年度決算、2020年度予算
第5回	2021年5月	事業報告、2020年度決算

2019年度予算案

収入		
区分	予算額（千円）	備考
北九州市負担金	166,000	一部に文化庁委託金及び補助金を活用予定
合計	166,000	

※予算額は案です。正式には2019年6月北九州市議会の議決を経て決定します。

支出		
区分	予算額（千円）	備考
プレ事業・オープニング事業	20,000	
開幕式典	35,000	
交流事業	9,350	
広報・ボランティア運営	41,700	
コア期間事業	42,950	事業準備費用
管理運営費	17,000	
合計	166,000	

北九州市市民文化スポーツ局東アジア文化都市推進室
TEL : 093-582-2390

リサイクル適性[Ⓐ]
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

